

◆ 今週のコメント

- ・ 麻しんの小児科定点からの報告が1例(女, 5歳)あります。全国(第37週)の定点当たり報告数は減少していますが、過去5年平均値をやや上回っており、今後も動向にご注意ください。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT1VT2)の報告が2例で、先々週から報告が続き、8月、9月は報告が多い状態となっています。本年の累積報告数は45例で、内訳は、有症者34例、保菌者(無症状)11例です。年齢群別にみると、0歳～9歳は16例(うち有症者14例)、10歳～19歳は10例(8例)、20歳～29歳は6例(3例)、30歳～39歳は5例(3例)、40歳～49歳は4例(2例)、50歳～59歳は1例(1例)、60歳以上3例(3例)となっており、20歳未満と50歳以上では、有症者の占める割合が多くなっています。
- ・ デング熱の報告が1例で、本年の累積報告数は3例です。全数報告対象となった平成11年4月からの累積報告数は9例(男3例, 女6例)となっており、推定感染地域は全て海外で、アジア諸国での感染が多くを占めています。なお、本市でのデング出血熱の報告はありません。
- ・ アメーバ赤痢の報告が1例で、本年の累積報告数は16例です。過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期の累積報告数(3～16例)と比較して、平成16年と同数で最も多くなっています。

◆ 今週のトピックス:<水痘>

- ・ 水痘の定点当たり報告数は0.44で、過去5年平均値(0.32)を上回る値となっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・ 平成19年5月25日から始まった、京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 3例(肺結核 1例 その他 2例)(第37週追加分を含む)
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT1VT2) 2例
- ・ 四類:デング熱(デング熱) 1例
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例
- ・ 五類:ウイルス性肝炎(C型) 1例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.20	131
	② 突発性発しん	0.46	19
	③ 水痘	0.44	18
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.24	10
	⑤ 咽頭結膜熱	0.20	8
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP、糞便をFC、髄液をSF、尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
コクサッキーウイルスB4型 (1)	感染性胃腸炎(第37週)	FC

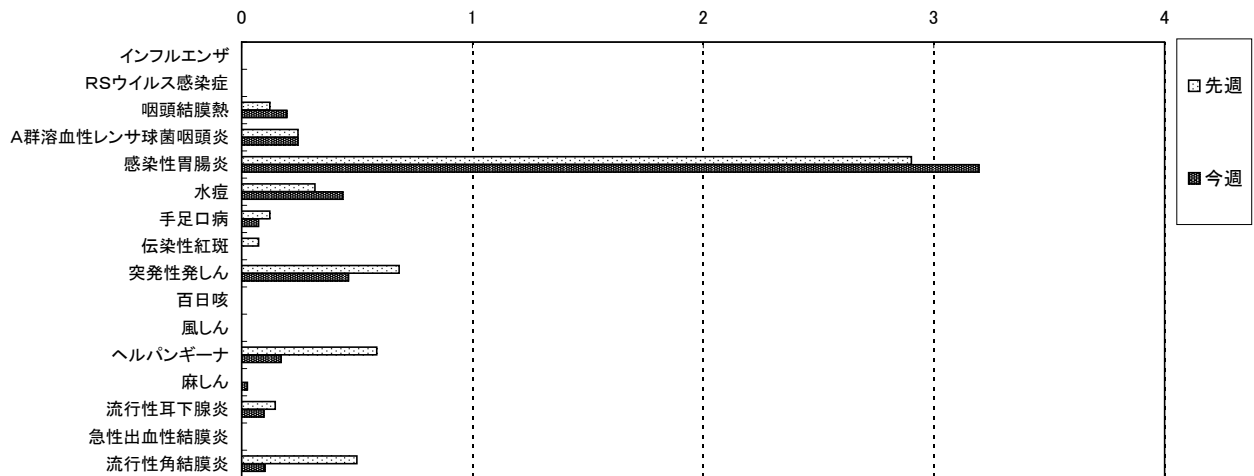
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<水痘> / 京都市麻しん全数発生報告
付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

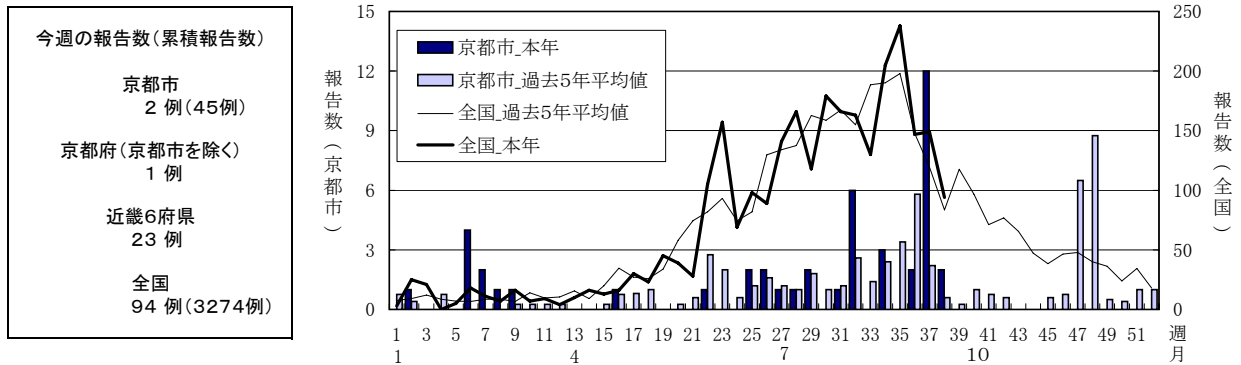
(注) 京都市のデータは、平成19年10月1日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第38週)と先週(第37週)の定点当たり報告数の比較

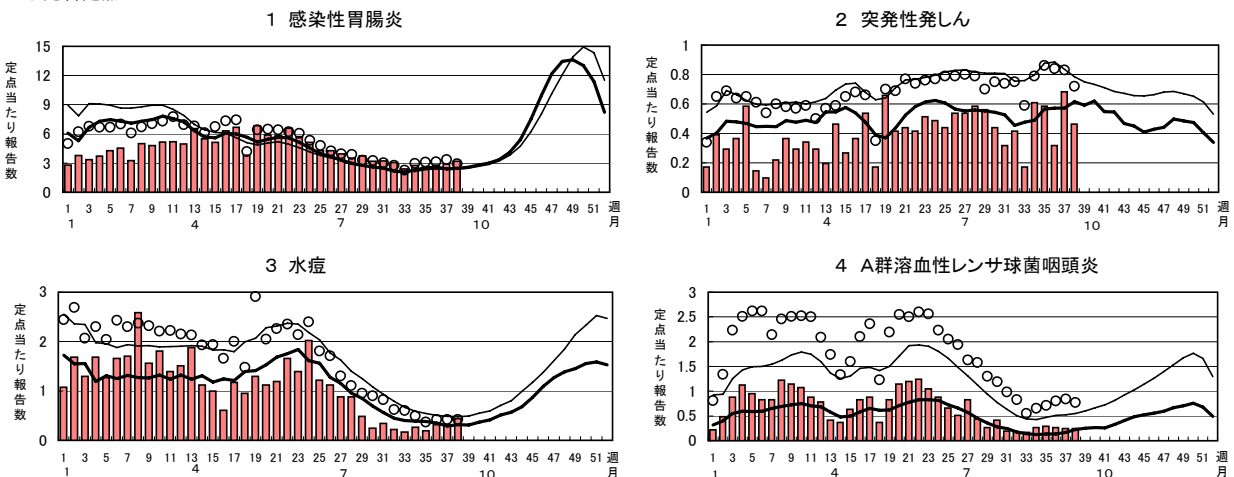


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

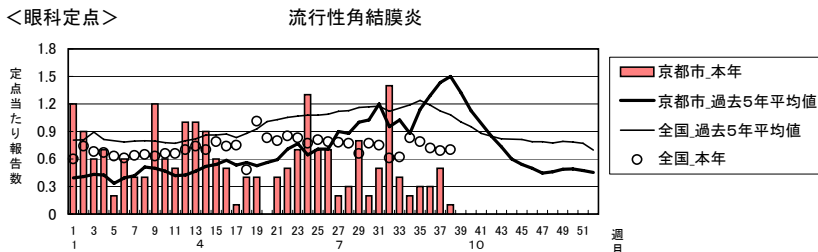


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



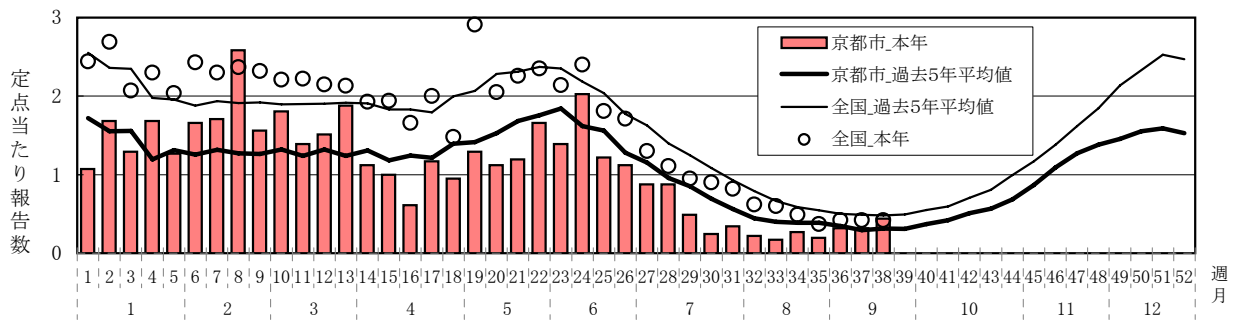
今週(第38週)のトピックス:〈水痘〉

今週の定点当たり報告数は0.44で、先週(0.32)に比べ多く、過去5年平均値(0.32)を上回る値となっています。本年の推移をみると、第30週以降低値で推移をしていましたが、今後、増加が予想されますので、ご注意ください。

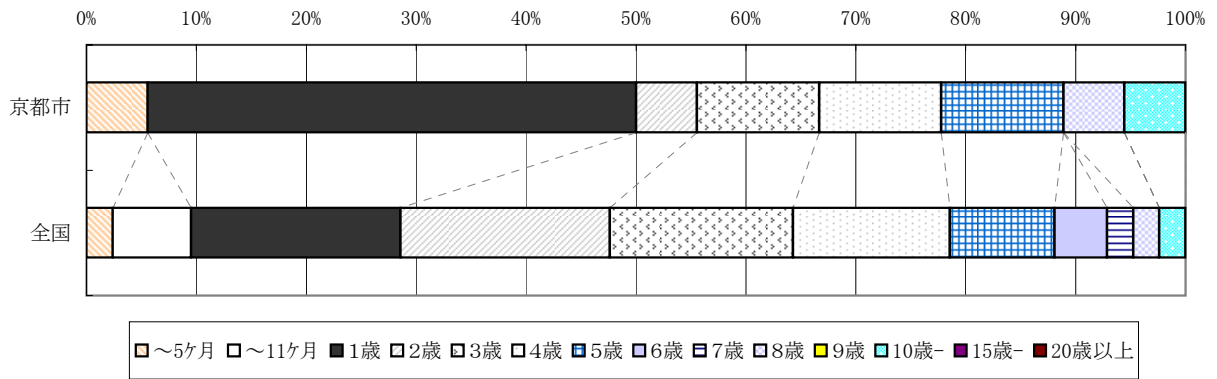
今週の報告を年齢階級別にみると、本市では、1歳が44.4%と顕著に多くなっています。全国では、1歳、2歳が最も多く、ついで3歳、4歳の順となっていますが、1~4歳の各歳は、ほぼ同程度の割合で、計69.0%を占めています。過去5年間の年齢階級別推移及び本年の累積報告数でも、全国と同様の傾向となっており、1~4歳で約7割程度を占めています。

本疾患は、感染力が強く、学校、施設、家族内などの集団での発生が多い疾病であり、本市の過去5年間の報告数は、2,000人前後と、一定の報告があります。ワクチン接種(任意)は1歳以上が対象です。保育所等の集団生活をされる小児や、保護者の方などは、受けておかれると安心です。また、院内感染対策のため、医療従事者に対するワクチン接種も重要です。

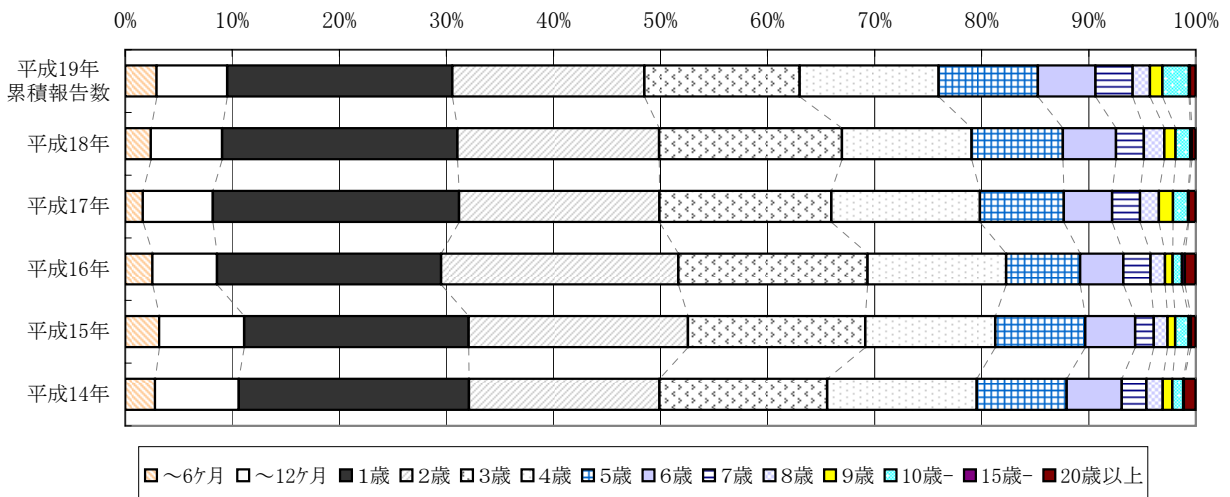
定点当たり報告数の週別推移



年齢階級別構成割合(第38週)



年齢階級別構成割合の推移



京都市麻しん全数発生報告

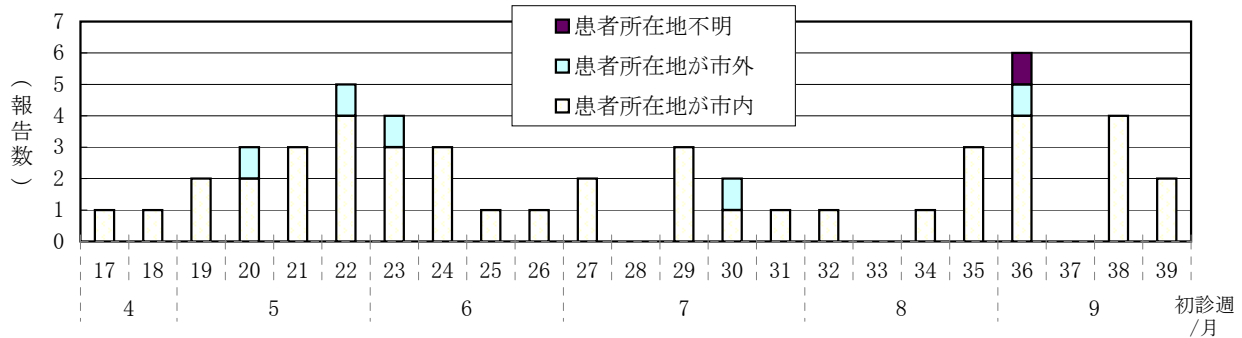
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から9月30日までの報告を初診週別に集計しています。

1 推移

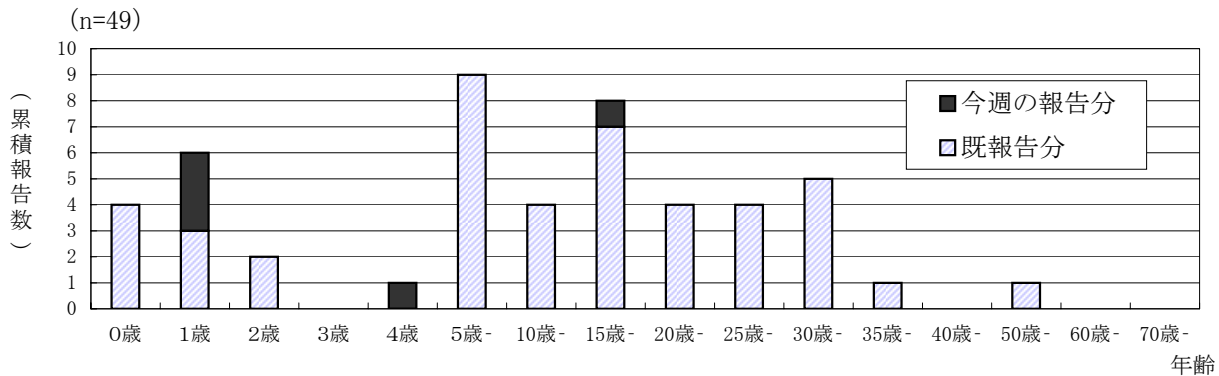
	初診週	第35週	第36週	第37週	第38週	第39週	累積報告数 (第17週以降)
今週の報告分		-	-	-	3	2	5
既報告分		3	6	-	1	-	44
合計		3	6	-	4	2	49

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (調査開始時～最新週まで)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第38週

疾病,保健所別報告数

平成19年9月17日～平成19年9月23日

データ入手日:平成19年10月1日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	-	-	-	-	3	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1						
上京	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	1	12	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
中京	-	-	-	1	9	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	1	-	23	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
山科	-	-	-	1	2	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	2	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	-	-	-	-	14	1	-	-	5	-	-	2	-	2	-	-						
伏見	-	-	5	1	17	3	1	-	7	-	-	1	-	1	-	-						
西京	-	-	2	4	39	6	-	-	4	-	-	3	-	1	-	-						
京都市計	-	-	8	10	131	18	3	-	19	-	-	7	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	-	-	-	-	0.75	0.50	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	1.00						
上京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	0.25	3.00	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
中京	-	-	-	0.33	3.00	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	0.50	-	11.50	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-						
山科	-	-	-	0.25	0.50	0.25	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	0.67	3.67	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	-	-	-	-	2.80	0.20	-	-	1.00	-	-	0.40	-	0.40	-	-						
伏見	-	-	0.71	0.14	2.43	0.43	0.14	-	1.00	-	-	0.14	-	0.14	-	-						
西京	-	-	0.50	1.00	9.75	1.50	-	-	1.00	-	-	0.75	-	0.25	-	-						
京都市計	-	-	0.20	0.24	3.20	0.44	0.07	-	0.46	-	-	0.17	0.02	0.10	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第38週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年9月17日～平成19年9月23日

データ入手日:平成19年10月1日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		8	-	-	1	1	-	1	-	2	1	1	-	-	-	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	-	-	-	-	3	2	1	1	1	1	-	1	-	-						
感染性胃腸炎		131	3	13	23	7	8	14	9	6	9	3	3	19	2	12						
水痘		18	1	-	8	1	2	2	2	-	-	1	-	1	-	-						
手足口病		3	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		19	1	8	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		7	-	3	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
麻しん(※)		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		4	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1					
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.20	-	-	0.02	0.02	-	0.02	-	0.05	0.02	0.02	-	-	-	0.02						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.24	-	-	-	-	0.07	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	-	0.02	-	-						
感染性胃腸炎		3.20	0.07	0.32	0.56	0.17	0.20	0.34	0.22	0.15	0.22	0.07	0.07	0.46	0.05	0.29						
水痘		0.44	0.02	-	0.20	0.02	0.05	0.05	0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-						
手足口病		0.07	-	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.46	0.02	0.20	0.22	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.17	-	0.07	0.02	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
麻しん(※)		0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.10	-	-	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10					
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第38週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年10月1日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	3	1	2	4	5	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	11	12	11	10	10
感染性胃腸炎	99	113	108	114	119	131
水痘	7	11	8	13	13	18
手足口病	9	6	15	7	5	3
伝染性紅斑	1	3	1	8	3	-
突発性発しん	7	25	24	13	28	19
百日咳	1	1	1	-	-	-
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	30	26	19	23	24	7
麻しん (※)	-	-	2	4	-	1
流行性耳下腺炎	10	8	10	9	6	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	2	3	3	5	1
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	178	208	205	209	218	202

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.07	0.02	0.05	0.10	0.12	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.17	0.27	0.29	0.27	0.24	0.24
感染性胃腸炎	2.41	2.76	2.63	2.78	2.90	3.20
水痘	0.17	0.27	0.20	0.32	0.32	0.44
手足口病	0.22	0.15	0.37	0.17	0.12	0.07
伝染性紅斑	0.02	0.07	0.02	0.20	0.07	-
突発性発しん	0.17	0.61	0.59	0.32	0.68	0.46
百日咳	0.02	0.02	0.02	-	-	-
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.73	0.63	0.46	0.56	0.59	0.17
麻しん (※)	-	-	0.05	0.10	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.24	0.20	0.24	0.22	0.15	0.10
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.20	0.30	0.30	0.50	0.10
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	4.64	5.21	5.23	5.32	5.70	5.00

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。